

平成31年・令和元年度
公益財団法人丹後地域地場産業振興センター事業報告

総括的概要

令和元年度は、新天皇陛下の御即位という明るい話題があったものの、全国で台風による甚大な災害が発生し、各地に大きな爪痕を残しました。

10月には消費増税による景気の落ち込みに加え、レジシステム更新等の経費及び事務的に多くのリソースを費やし、平時を取り戻しつつあった1月からは新型コロナウイルスの流行により、人的交流の縮小、経済への深刻な打撃を受ける激動の1年となりました。

当地域においても、2月に郷土の英雄である野村克也氏が急逝されるという、暗いニュースもあり、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態により、観光入り込み客の大幅減少など地域経済も先を見通せない状況が続いています。

非常に厳しい1年ではありましたが、製造、生産に力を注いでいる企業や個人と綿密に連携しながら事業に取り組んで参りました。

以下、本年度の事業内容を報告します。

I 新商品・新技術開発事業（公益目的事業1）

1 地域ものづくり支援事業

販路開拓事業で収集した消費者情報に基づき、既存商品の改良、新商品の開発指導を随時実施しました。

(1) 高機能急速冷凍装置導入による新サービス開発事業

平成27年度に整備した高機能急速冷凍装置を丹後地域の食品加工業者、飲食・宿泊業、小売業者などに開放し、それぞれの分野において「食」に関する新たな戦略の構築を支援しました。

令和元年度活用実績 20社、延べ220回

2 商品の品質向上及び適正表示指導事業

(1) 丹後地域加工食品品質向上連絡会の設立

全国流通可能な魅力的で売れる商品づくりを推進し、加工食品製造者の商品開発、加工技術の向上、販路開拓を支援し、製造食品の品質向上を目的に、京都府織物・機械金属振興センター、京丹後市、京丹後市商工会、一般財団法人丹後王国食のみ

やこ、株式会社丹後王国、京丹後市観光公社及び当財団により、「丹後地域加工食品品質向上連絡会」を設立しました。
設立日令和元年度11月5日

資料1

(2) 食品品質向上セミナー

令和2年4月1日が移行期限となる新しい食品表示制度に対応する指導セミナーを開催しました。

○テーマ名 新しい食品表示制度について

○日 時 令和元年12月3日（水）午後2時から4時

○場 所 当センター研修室

○受講者 20企業、24名

(3) 栄養成分分析サービス

上記の新食品表示法に義務付けられた栄養成分表示に対応するため当センターで分析サービスを実施した。

令和元年度実施実績 15社、56件

資料2

Ⅱ 人材育成事業（公益目的事業1）

伝統産業である織物業や基幹産業である機械金属製造業をはじめ、地域事業所・商店街等の維持・再生・発展を図るとともに、地域の特性を活かした未来指向型の産業・ワークスタイルを創造し、新たな産業・事業所の創出を図り、雇用・就業の機会を促進するため下記の人材育成事業を実施しました。

1 創業支援事業

平成26年度から創業支援事業として創業支援窓口を開設しており、京丹後市をはじめとした関係機関・団体と連携協力し、相談及び指導、情報提供を行いました。

2 手機講習会

丹後ちりめん創業300年を迎える2020年に向け、地域を訪れる方々への文化発信及び学ぶ機会の提供を目的に、手機体験を実施するため、講師の養成講座を開催しました。

○日 程 平成31年4月10日～令和元年11月6日

毎週金曜日 午後7時から9時 全11回

○場 所 当センター研究開発棟

○内 容 綜統入れ、箆入れ、糸繰り、手織り

○受講者 網野機業組合 10名

3 着物着付教室

京丹後市職業訓練校と共催で地域の地場産業である着物の着用機会の増進を目指し、一人でも着用できる着物着付教室を開催しました。

○着物着付教室

日 程 令和元年9月12日～11月28日 毎週水曜日
午後7時30分から9時30分 全12回

受講者 17名

4 染色教室

丹後ちりめんの完成品化に寄与する人材育成を目指し、染色教室を開催しました。

①染色基礎Ⅰ

○日 程 平成31年4月23日～令和元年9月17日
毎週火曜日 午後1時30分から4時30分
全20回

○受講者 9名

②染色基礎Ⅱ

○日 程 令和元年9月24日～令和2年1月28日
毎週火曜日 午後1時30分から4時30分
全15回

○受講者 8名

Ⅲ 需要開拓事業（公益目的事業1）

1 丹後ブランド商品認定事業

(1) Tango Good Goods 認定事業

事業開始以来21年目を迎えるTango Good Goods 認定事業を実施し、製造者の「ものづくり」を奨励・支援し、販路開拓の意欲高揚を図るとともに、丹後ブランド商品のコンセプト確立とそれに基づくブランドイメージの定着化を図り、流通及び需要の拡大・開拓を推進しました。

食品表示については、平成27年に食品衛生法及びJAS法、健康増進法を一つにまとめた食品表示法が施行され、移行期限の2020年が間近に迫っており対応が急がれるところで、Tango Good Goods 認定審査基準においも新表示法を念頭に置いた厳格なコンプライアンスへの対応が求められるところで

す。

今年度においては再度、製造者の意識を高めT a n g o G o o d G o o d sとしての質的向上を図る事業実施に努めました。

また、認定品へのT a n g o G o o d G o o d sロゴシール貼付指導を推進し、地域ブランド商品としての差別化を図りました。

ア 認定状況

(ア) 申請状況

申請者数 43 業者、申請商品数 74 点

(イ) 認定状況

認定者数 40 業者 認定点数 70 点

通算（平成 29 年度～令和元年度）認定者数 97 業者、認定点数 259 点

(ウ) 優秀産品表彰

優秀産品表彰制度は、認定品の中で特に優秀と認められるものを選定・表彰する制度で、本年度は 3 点が表彰されました。また、優秀産品を示すロゴシールの作成、配布を実施しました。

イ T a n g o G o o d G o o d s 認定推進委員会開催

認定事業実施においては、認定推進委員会委員 10 名に就任いただき認定について協議いただきました。

(ア) 第 1 回 T a n g o G o o d G o o d s 認定推進委員会
平成 31 年 4 月 23 日 午後 2 時開催

(イ) 第 2 回 T a n g o G o o d G o o d s 認定推進委員会
令和元年 6 月 26 日 午前 10 時開催

(ウ) 令和元年度 T a n g o G o o d G o o d s 審査会
審査員として専門家（デザイナー、食品アドバイザー、マーケティングアドバイザー）3 名を委嘱し、審査会を開催しました。

審査会日時 令和元年 6 月 24 日・25 日

審査終了後に全体講評及び商品個別相談を実施

ウ T a n g o G o o d G o o d s 認定品カタログの作成（B to B 用）及びバイヤーへの配布

令和元年度認定品を掲載したカタログを作成し、見本市等でバイヤーへ配布しました。作成部数 700 部

(2) 第 21 回 T a n g o G o o d G o o d s 見本市の開催

第 21 回目となる丹後ブランド産品見本市を京都丹後ブランド産品会との共催により、宮津市民体育館において開催し、丹後ブランド認定商品を中心とした地場産品の地域内 P R 及び流通促進

を図りました。

また、元年度認定品を一堂に集めPR展示しました。

資料 3

2 京都丹後ブランド製品会の支援及び地域特産品販路開拓事業

T a n g o G o o d G o o d s 認定事業者のうち地域外へも、その販路を開拓する意欲のある事業者で発足した「京都丹後ブランド製品会」の活動を支援し、新商品開発及び商品改良指導、販路開拓等の事業を実施しました。

(1) 主な事業

- ア 都市部での丹後のええもんうまいもん展の開催
- イ 展示即売会等の開催情報の提供
- ウ 中元カタログ及び歳暮カタログの作成配布
- エ ECサイトの運営

資料 4

(2) 丹後王国「食のみやこ」との連携による丹後産品流通支援事業

丹後王国との連携により、京都市内をはじめとする近隣の大都市圏を対象に、農産物及び地場産品の販路開拓を行い、地域商社として流通支援を実施しました。

4 染色体験・資料展示事業

観光客等が地域資源である丹後ちりめん及び織物に対する理解を深め、地域産業に触れてもらう機会を創出するため、網野染織研究会「茜」の協力を得て、体験事業を実施し、情報発信及び誘客の強化を図るとともに、染色の研究及び技術の習得によって製作した作品を展示し、その成果を発表しました。

(1) 染色体験

スキルを身につけた会員による観光客等を対象とした染色体験を随時実施し、311名（前年対比93.1%）を受け入れました。

(2) 染色作品展示会の開催

年間をとおして製作した作品を展示し、広く一般の方々に染色技術の啓蒙普及を図りました。

○網野染色研究会「茜」染色作品展

日 時 令和元年11月3日（日）・4日（月・祝）

午前9時30分から午後4時

来場者数 110名

Ⅳ 情報収集・提供事業（公益目的事業１）

1 展示即売室即売動向情報収集分析提供事業

展示即売室における日々の顧客、商品、販売情報の収集に取り組み、販売データを分析、加工し新商品の開発、改良の基礎資料としてもらうため出展者へ毎月「アミティ情報」を発行しました。

消費者の購買動向、生の声を伝えることにより出展者の経営基盤強化及びセンターとの意思疎通を図ることができました。

資料 5

2 センターホームページによる地域資源発信事業

地域生産者、消費者が手軽に利用できタイムリーな情報を提供することを心がけ地域情報、センター情報、産品情報、広報等をセンター公式ホームページとして発信しました。

また、丹後地域及びセンター情報を発信する SNS を展開し、身近な情報を提供することで、地域及びショップへの誘客を図りました。

丹後地域地場産業振興センター公式ホームページ URL

<http://www.tango.jibasan.jp/>

資料 6

Ⅴ 地場産品展示普及支援事業（公益目的事業１）

1 地場産品常設展示

当センターの重要な機能及び事業の柱の一つである地場産品の PR を目的とする常設展示即売事業は、地域産品の総合展示場として「丹後ちりめん」をはじめ 267 業者の地場産品約 3,000 品目に及ぶ製品を展示・販売しており、来館者の注目も高く、観光関連業者からのご案内も数多くいただいています。

地域の観光資源としての機能強化を図るとともに、丹後を訪れる観光客をはじめ地域内外へも取扱品情報を発信するなど幅広く宣伝・啓発し、販路開拓とともに消費者ニーズの握による需要拡大に努めました。

店舗における購買動向を分析することで、出展者の商品開発、改良に寄与するほか、センター事業の企画立案の基礎となっています。

また、店舗における商品の見せ方を工夫することで、商品の特徴、魅力をアピールする VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）に努め、出展者の商品の魅力発信力を強化するとともにバイヤーへの VMD を含めた商品提案を行いました。

2 丹後産品情報発信事業

京都丹後ブランド産品会との共催で、消費者向けのカタログ（中元・歳暮の2種）を作成し顧客等へ配布するとともに、消費者が直接産品を購入できるECサイトの運営及び京丹後市ふるさと納税サイトの活用を図りました。特に3月以降は、全国的なマスク不足への対応を受け「シルクマスク」を掲載したところ多くの方々から注文をいただきました。

URL <http://tango.jibasan-shop.jp/> 独自ショップ
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/amitytango/>
YAHOOショップ

資料 7

VI 会館提供・コミュニティー事業（収益事業1）

1 会場提供事業

センター2階施設を地域住民、企業、団体等の会議、研修会、展示会等に貸し出すとともに地域コミュニティーの場として地域活性化の一助としました。

資料 8

2 京丹後市企業立地推進事業

京丹後市企業立地推進事業の実践場所として、平成27年度に整備したテレワークオフィスの一部をコワーキングスペースとして活用しました。

3 京丹後市観光公社との連携

情報センターを京丹後市観光公社に事務所として貸し出し、観光案内業務、丹後情報の発信・配布、共同事業の実施など観光と地場産業が連携した地域資源の新たな活用展開を行いました。

VII 誘客販売事業（収益事業2）

1 販売事業

来館者等の利便に資するため土産品としてキーホルダー等の販売を行いました。

2 たんご朝市の開催

たんご朝市は、開設19年を迎え、地域住民・観光客等から好評を得ており朝市出展者会の協力の下、本年度も引き続き朝市を毎日曜日

開催しました。

(1) アミティ丹後春の感謝祭

4月28日開催

(2) アミティ丹後秋の感謝祭

11月3日開催

3 野村克也ベースボール展示ギャラリー

野村克也氏からの貴重な寄贈品を京丹後市から貸与いただき、地域の観光資源として展示を行いました。

資料9

Ⅷ 管理事業

1 理事会の開催

開催日	主な審議内容
令和元年5月31日	○平成30年度事業報告・収支決算について ○評議員会の招集について
令和2年3月24日	○令和2年度事業計画・正味財産増減予算について

2 評議員会の開催

開催日	主な審議内容
令和元年6月27日	○平成30年度貸借対照表、損益計算書の承認について ○評議員の選任について ○理事の選任について

3 監査会

開催日	内容
令和元年5月20日	○平成30年度事業・決算監査

4 全国地場産業振興センター協議会

全国の地場産業振興センターの連絡・連携を目的として同協議会が設立されており、会長として協議会の運営を行ってききましたが、令和元年7月11日の総会において（一財）今治地域地場産業振興センターへ引き継ぎました。

(1) 全国地場産業振興センター協議会総会

○日 時 令和元年7月11日 午後2時30分から5時

○会 場 岩手県盛岡市 つなぎ温泉ホテル大観

(2) 全国地場産業振興センター協議会令和元年度第1回幹事会

○日 時 令和元年5月8日 午後3時から5時

○場 所 (公財) 姫路・西はりま地場産業振興センター